

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 ☎491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931

UNITE FOR GOOD

URL: <http://rc138.org> E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp



重文「陵王」面 真清田神社蔵

2026年4月23日
第3675回例会

プログラム
卓話
AED取扱い講習会
一宮消防署八幡消防分署

ロータリーソング「四つのテスト」

第3673回例会の記録
2026年4月9日(木)

会長挨拶

山上哲司

今日からアメリカ・ジョージア州・オーガスタショナルゴルフクラブで開催される第90回マスターズトーナメントに松山、片岡の2名の日本人ゴルファーが出場します。

本日は1936年、日本人として初めてマスターズに出場したプロゴルファー戸田藤一郎をご紹介します。戸田はキャディとして働きながら独学で技術を習得し、1933年(18才)プロ入り、同年の関西オープンで初優勝を遂げ、「天才」、「鬼才」と称される存在となりました。そして1936年、長い船旅を経て休む間もなく出場したマスターズでは29位でしたが、その技術は現地でも高い評価を受けました。その後転戦した米ツアーでは2位、5位、9位等の成績を残しています。1939年(24才)には日本オープン、日本プロ、関西オープン、関西プロを制し「年間グランドスラム」を達成しました。しかし終戦後の混乱期に私生活の乱れ(酒、賭博、女性関係)により1948年にゴルフ界を追放され、1955年に復帰を果たしました。彼は長いブランクを経ても高い実力を維持していたことを証明し、生涯を通じてレギュラーツアー優勝24回、シニアツアー優勝6回の成績を収め、2012年には日本プロゴルフ殿堂入りを果たしました。

戸田の理論はジャンボ尾崎、松山英樹等多くのゴルファーに多大な影響を与えました。またゴルフに関する多くの著書を残していますが、中でも1962年出版された「パンチ・ショット」はその代表作で、私も大学時代は何度も読み返しました。

戸田が残した言葉をいくつか紹介します。

- 右手はアクセルやゴルフは形ではなくインパクトが大切
- 型に入ったら、進歩は止まる
- 理論やフォームに縛られることを強く戒めた言葉
- ゴルフは考えすぎたら負けや思考過多がスイングを壊す。頭で組み立てるのではなく、身体が覚えた動きに任せろ

次回の予定

4/30 休会 定款第7条第1節d-1
5/7 イニシエーションスピーチ
金森隆浩君

会長 エレクト 桑原 英 寿
副 幹 事 吉山 佐人 規
幹 事 大 鹿 晃 裕
会報委員長 梅 谷 朋 志

新 会 員 紹 介



氏 名 河 合 仁 美 君
職業分類 損 害 保 険
勤 務 先 東京海上日動火災保険㈱
役 職 名 執行役員 愛知北支店長
生年月日 昭 和 4 8 年 5 月 6 日
紹 介 者 関 戸 徹 君

ロータリーの友4月号

三嶋啓一郎

今月のRI会長のメッセージでは、「ナイジェリアの家族の健康のための協力」という取り組みを通じ、医療体制の構築により母子の命を守ったお話を紹介しています。支援を必要な場所に、事前に対応していくことが地域社会にとって必要であることが述べられています。

4月は環境月間です。新潟西RCによる、日本初のグローバル補助金プロジェクトとして、気候変動に起因する森林火災を環境整備によって未然防ぎまたは被害を最小限に抑える取り組みが紹介されています。こちらの取り組みは、タイのクラブと協力して、タイ北部のドイ・ジョラケというところから始まっております。このような日本から海外のクラブと協力して、環境問題の改善に取り組み活動は様々行われており、紹介されています。

縦組み2頁から、女子プロレスラーの長与千種さんのインタビュー記事が載っています。若手時代の苦勞から女子プロ団体の立ち上げから現在までのお話が載っています。

委員会報告

ニコボックス

野村和弘

☆ 森 克彦君

本日、4月9日付け中日新聞尾張版に愛知県陶磁美術館にて開催中の企画展「茶の饗宴」を取材した記事が掲載されました。日本の茶の湯・煎茶そして西洋のティーカルチャーにおける茶器の美意識を見比べる趣旨の催しです。同美術館の学芸員の力量によって小生の先祖が蒐集した煎茶道具の本来の価値を引き立てる展覧会となった喜びで。

☆ 辰 守弘君

一宮のシンボルでもある真清田神社の桃花祭を、豊島会長以下神社の役員さん方をはじめ多くの方々の協力を得て、無事終了した喜びで。

☆ 関戸 徹君

先日、Facebookとインスタグラムを乗っ取られ、皆様に大変な案内が届いたと思いますが、決して電話番号やアドレスを入力しない様お願いします。もし感染しても当局は一切関知しませんのでそのつもりで。なおこの情報は自動的に消滅しません。

☆ 山上哲司君 大鹿晃裕君

先日のクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーに出席された方にはお疲れ様でした。次年度の活動に対する色々な学びを得た事は非常に有意義な時間だったと思います。本日の例会にて会員の皆様にも共有したいと思います。

出席報告

現在の会員数	109名
本日の出席数	58名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

クラブアッセンブリー

クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー報告



第1分科会 桑原英寿

【トレーニングからラーニングへの変化が急務】

- ・トレーニング⇒知識を持っている者が持っていない者へ正解を教える。
「情報の伝達」へ
- ・ラーニング⇒知識は講師から与えられるものではなく自らの経験や知識をリソースとし、対話を通じて自ら「気づき」構築していくもの。「自分たちで創り出す。」

【ロータリーのリーダーシップとは】

誰かの上に立ち、他人を従えるのではなく、仲間とともに良い価値を創り出すこと。

【ファシリテーターの役割】

三人寄れば文殊の知恵の4人目

1. 場を作る。
どんな意見を言っても否定されない。安心して発言できる空気を作る。
2. 触媒になる。
異なる背景を持つ会員同士の言葉を繋ぎ、化学反応を促す。
3. 問いを投げかける
参加者が「ハッ」とするような問いを投げかけ、思考を深める。

□皆様の中に眠っている素晴らしいアイデアや情熱を引き出して形にする技術を持った「案内人」

第2分科会

佐々憲一

まずはポリオ根絶に向けた現状報告があり、一人ではできないことを皆の力で実現したいとのことでした。続いてロータリークラブジャパンポータルサイトの説明があり、その中では3年間の目標設定、会員増強の手法に関する資料など、非常に有益な情報が満載でしたので、ネットで簡単に検索できますので是非一度ご活用ください。その他、ロータリーにおける危機管理、主にハラスメントについては強い姿勢でハラスメント撲滅に取り組んでいくとのお話がありました。また会員増強については、今後は女性会員の増強が必須だとのことでした。また今回、特別講演をされた高崎RCの田中久夫さんが書かれた本「ロータリークラブに入ろう！」には会員増強に関する有益なお話書かれており、是非読んでみるとよいとのことでした。

第3分科会

豊島晋一

テーマ「ロータリーの公共イメージの目的を考えよう」

最初に参加者間で、テーマに関してフリートークが行われ、次の表題でレクチャーが実施されました。

1. ロータリーの公共イメージ向上について
2. MyROTARYの登録と活用
3. ロータリーの友について 公共イメージを向上させることで、ロータリーが広く社会に認知され、参加者の基盤が広がり、ビジョンの実現に近づくことができる。

MyROTARYを活用し、ロータリーをもっと好きになってほしいとの事でした。

第4分科会

加藤 亘

【テーマ】元気で、なかよく、楽しく、
国際奉仕活動しよう！

国際奉仕委員会の事業として、国際間の理解、親善、平和を推進する活動などが行われている。単年度・低予算、また国内外向けに実施している各クラブでの事例の紹介。地区の国際奉仕委員会では、「参加しやすい事業の組み立て」、「保険室プロジェクトのパッケージ化」、「各クラブへの導入支援」を行っている。ハードルを上げずに出来ることから国際奉仕の活動を広めて行って下さいとのお話がありました。

第5分科会

渡邊 肇

新たな視点で、次への挑戦
～四つのテストと超我の奉仕の実現～

自らの職業に誇りをもち、自らの職業をとおして社会貢献することがロータリアンの第一義的使命であります。中核的価値「奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ」とロータリアンの精神基盤の4つのテスト「真実か どうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるか どうか」に照らし合わせて自社の活動を見つめな社会に貢献することが「職業奉仕」であります。

第6分科会

安藤滋朗

テーマ「ロータリー財団を学び理解しよう」

ポリオ撲滅、地区補助金について学びました。ロータリー財団は、皆さまからの寄付のみによって支えられています。そして、「人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすこと」を使命として世界各地で多くの奉仕活動を展開しています。2026-27年度の地区目標としては、年次基金一人150ドル以上、ポリオプラス一人30ドル以上、恒久基金一人20ドル以上です。また、ポール・ハリス・ソサエティ+1名以上、ポリオプラス・ソサエティ会員の5%以上を目標に皆様からの寄付の推進をお願いしております。

第7分科会

墨 大輔

「青少年奉仕は楽しく高潔に」というテーマのもと、各委員長から事業説明がありました。インターアクト委員会はIACの紹介と、クラブの高校生2名から活動紹介がありました。RYLA委員会は青少年指導者育成セミナーを計画しています。青少年交換委員会は事業の説明に加えて現状の問題点と対処法についての報告がありました。学友委員会は発足してまだ3年なのでこれから作り上げていきたいとの話でした。ロータリーアクト委員会からはインターアクトからの移行、企業派遣、新クラブ創立による会員増強のお願いがありました。

第8分科会

浅井孝介

米山記念奨学会は、「ロータリー活動を理解し、日本と世界の懸け橋となる」奨学生を育て支援する為に、寄付金を財源として運営されております。2760地区では2026-27年度も20,000円/人の寄付金額を目標としておりますので、ご理解とご支援をお願い申し上げます。奨学生に対しては、カウンセラーを中心に奨学生と交流し、奨学生終了後も日本と世界の懸け橋になる人になってくれる活動にご協力をお願い致します。

第9分科会

青山直生

「学ぶ楽しさ、役立つ喜び。挑む力はここにある」をテーマとして入会3年未満会員向け分科会に参加しました。2名のパストガバナーから講演をいただき、吉川パストガバナーからは国際ロータリーとロータリー財団の組織について説明いただきました。まずは参加することが大切あることと、出向を含めロータリーの様々な場面に参加することで世界中に友人をつくることのできることを学びました。ガバナーエレクトの所信表明や特別講演を拝聴し次年度の新たな挑戦にワクワクする気持ちです。分からないことも多くありますが先輩方のように立派なロータリアンになれるよう精進していきます。

***** プログラム *****

第3674回例会の記録

2026年4月16日(木)

例会変更 春の親睦家族会

びわ湖大津館&イングリッシュガーデン

島津製作所創業記念資料館

フォーチュンガーデン京都

